

## 法科大学院協会シンポジウム

# 法科大学院修了生の活躍と今後の課題

## ——多様な人材の輩出に向けて——

日時 2013年5月11日(土) 14:00~18:00

会場 東京大学本郷キャンパス 法文1号館 25番教室

本郷キャンパスアクセスマップ [www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01\\_02\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html)

法文1号館へのアクセス [www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01\\_01\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_01_j.html)

主催 法科大学院協会

共催 日本弁護士連合会 経営法友会

後援 文部科学省

※ 事前の申込みは不要です。当日、会場の受付にお越しください。

※ 問い合わせ：法科大学院協会広報委員会主任・秋山 靖浩（電話：03-5286-1354  
／E-mail：akisan@waseda.jp）

法科大学院制度の創設から8年が経過し、法科大学院を巣立った修了生が社会の様々なところで活躍しています。これらの修了生の中には、従来の法廷中心に活躍する法曹三者の枠にとらわれずに目覚ましい活躍をしている者が多数登場しているところです。このような有為な修了生を送り出していることは、法科大学院制度を中核とする新たな法曹養成制度の重要な到達点を現すものです。

本シンポジウムは、以上の状況を踏まえて、法科大学院修了生の活躍状況を社会に広く発信し、法科大学院の意義と課題を社会に向けて示すことを目的としています。

第1部では、法科大学院協会広報委員会より、法科大学院にご協力いただいた調査の結果に基づき、法科大学院修了生の活躍状況を紹介した上で、法科大学院修了生を受け入れている様々な組織・団体の方々から、法科大学院修了生の受け入れの現状、法科大学院修了生の強みと課題などを報告していただきます。

第2部では、第1部の報告者に加えて、特色ある活躍をされている法科大学院修了生を交えた討論を行います。

これらの報告および討論を通じて、法科大学院修了生の活躍状況を把握し発信するとともに、法科大学院科教育の成果と課題、社会における法科大学院修了生の受け入れの現状と課題などを広く共有したいと考えています。

<プログラム>

開会挨拶 鎌田 薫 (法科大学院協会理事長／早稲田大学総長)

第1部 (14:05～15:50)

法科大学院修了生の特色ある活躍状況の調査について

秋山 靖浩 (法科大学院協会広報委員会主任／早稲田大学教授)

受け入れ側から見た法科大学院修了生の活躍と今後の課題

○法科大学院出身の弁護士とその活動状況について

丸島 俊介 (弁護士・元日本弁護士連合会事務総長・法曹養成制度検討会議委員)

○若手弁護士を任期付き公務員として就任させる地方の法律事務所の取組みについて

楠井 嘉行 (弁護士／楠井法律事務所)

○国家公務員として活躍する修了生の状況について

赤穂 敏広 (人事院人材局企画課長)

○企業内弁護士として活躍する修了生の状況について

的場 弘紹 (三井物産法務部総合開発室室長)

○地方自治体での活躍と更なる期待 (仮)

泉 房穂 (明石市長・弁護士・社会福祉士)

司会:大貫 裕之 (法科大学院協会広報委員会・法曹養成対策本部・常務理事／中央大学教授)

第2部 (16:10～18:00)

パネルディスカッション「法科大学院修了生の活躍と今後の課題をめぐって」

パネリスト

第1部の報告者

法科大学院修了生

水上 貴央 (弁護士・青山学院大学法務研究科助教／早稲田リーガルコモンズ法律事務所)～他学部・社会人出身の経験を生かして弁護士として活躍する修了生

皆川 佳代 (弁護士／興和株式会社知的財産統轄室契約渉外部)～企業内で弁護士として活躍する修了生

深見 健太 (金融庁総務企画局総務課国際室)～国家公務員として活躍する修了生

宮内 博史 (弁護士／弁護士法人多摩パブリック法律事務所)～難民や外国人、被災者、国際人権問題に取り組む弁護士

宮地 理子 (弁護士／八重山ひまわり基金法律事務所)～離島地域の公設事務所で活動する弁護士

司会:秋山 靖浩 (法科大学院協会広報委員会主任／早稲田大学教授)

※ プログラムの内容は予告なく変更されることがございます。あらかじめご了承ください。